

国会集会に参加しました！

「各政党に問う『尋常ならざる事態!』どうするつもり?介護保険」



多機能ホームまどか／小室仁志

衆議院議員会館で、議員や報道を招いて行われる集会に初めて参加しました。

2024 年の改定で訪問介護事業では倒産が相次ぎ、訪問介護が存在しない自治体がある事態となっている事は知っていました。保険料を払っているのにサービスが受けられない、などというのは制度として破綻しています。自分事として考えても大きな不安があります。少子化の原因は、老いても楽しい社会でないことも一因だと思います。こうした考えを政治に反映させるには、この集会のように、政党に現場の声を伝え、質問し、回答を得て公開し、公約にあげるよう働きかけることが大切だと改めて感じました。

ケアサポートえん／小野実穂

院内集会に参加するのは人生で初めての経験でした。当日は全国から介護・福祉に携わる様々な立場の方が衆議院会館の一室に集まっていました。まず現場から過酷な労働環境や経営が大変な中で働かざるを得ないことや、そのために利用者さんへ提供するサービスの質が落ちてしまったり、今後はサービスの提供自体ができなくなるのでは?など悲惨な現状を訴える報告が多くありました。一方で、集会の取りまとめ役でもある小島さんより、政権与党の自民・公明党が初めて出席したのは大きな成果だとの結びがありました。現場で働く一人のヘルパーとして、自分が働く職場環境を良くしていくにはこうした現場からの声を届ける運動や、政治に参加していくこと(選挙での投票も)が欠かせないのだということを目の当たりにした貴重な体験となりました。

ケアサポートえん・グループホームえん／立川栄侍

5月28日(水)議員会館で開かれた院内集会に参加させていただきました。

普段政治とは無縁(決して無関心な訳ではないですが…)の私が、着ていく服にも多少気を使い、永田町駅で降り、実に小学校の社会科見学以来となる国会議事堂を通り過ぎ、議員会館に着き、空港並みの手荷物検査を受け、会場入りしました。